



「JSRグループ CSR Report 2010」

第三者検証 意見書

2010年7月6日

JSR株式会社
取締役社長 小柴 満信 殿

社団法人 日本化学工業協会
レスポンシブル・ケア検証センター長

※ 田 三 郎

■ 検証の目的

レスポンシブル・ケア報告書検証は、JSR株式会社が作成した「JSRグループ CSR Report 2010」冊子版及びWEB版(以後、報告書と略す)に記載されている、下記の事項について、レスポンシブル・ケア検証センターが化学業界の専門家の意見を表明することを目的としています。

- 1) パフォーマンス指標(数値)の算出・集計方法の合理性及び数値の正確性
- 2) 数値以外の記載情報の正確性
- 3) レスポンシブル・ケア活動の評価
- 4) 報告書の特徴

■ 検証の手順

- ・本社において、各サイト(事業所、工場)から報告される数値の集計方法の合理性、及び数値以外の記載情報の正確性について調査を行いました。調査は、報告書の内容について各業務責任者及び報告書作成責任者に質問すること、並びに彼らより資料提示・説明を受けることにより行いました。
- ・四日市工場において、本社に報告する数値の算出方法の合理性、数値の正確性、及び数値以外の記載情報の正確性の調査を行いました。四日市工場の調査は、各業務責任者及び報告書作成責任者に質問すること、資料提示・説明を受けること、並びに証拠物件との照合することにより行いました。
- ・数値及び記載情報の調査についてはサンプリング手法を適用しました。

■ 意見

- 1) パフォーマンス指標(数値)の算出・集計方法の合理性及び数値の正確性について
 - ・数値の算出・集計方法は、本社及び四日市工場において、合理的な方法を採用しています。
 - ・調査した範囲に於いて、パフォーマンスの数値は正確に算出・集計されています。
- 2) 記載情報の正確性について
 - ・報告書に記載された情報は、正確であることを確認しました。原案段階では表現の適切性あるいは文章の分かり易さに関し、若干指摘事項がありましたが、現報告書では修正されており、現在修正すべき重要な事項は認められません。
- 3) レスポンシブル・ケア(以後、RCと略す)活動の評価について
 - ・社長自らがRC監査のトップとして工場・研究所の内部監査を毎年実施していることを評価します。
 - ・RC活動をCSR経営の中心と位置づけ取り組んでいること及び国内外のグループ会社のRCの活動の向上に努めていることを評価します。
 - ・「CSR報告書を読む会」をグループ全域で開催し、CSR意識の浸透に努めていることを評価します。
 - ・四日市工場では、廃棄物のリサイクルに成果をあげていること及び工程の密閉化を進めるとともに蓄熱式脱臭装置などを導入し、臭気対策に著しい効果をあげていることを評価します。
- 4) 報告書の特徴について
 - ・読者の意見を積極的に取り入れ、分かりやすく、読みやすい報告書を目指しています。
 - ・冊子にRCハイライト及び社会貢献ハイライトのページを設けています。

以上